

JS だより

連載 217

JS 下水道研修のホームページを リニューアルしました！

研修センター次長兼研修企画課長
辻田 威夫



1 はじめに

新型コロナウイルス感染症が2類から5類へ移行され、行動制限が解除されたおかげで令和5年度は前年度に増して、より多くの方に対面集合研修にご参加いただくことができました。

今回は、令和6年2月より全面的にリニューアルいたしました日本下水道事業団（以下、JS）の「JS下水道研修」のホームページと応募方法の変更、研修講師登録制度、下水道職員・社員研修支援に関しましてご紹介させていただきます。

従前は、公務員向けの戸田対面研修をメインにその下に地方研修、民間研修を掲載していたため、縦にスクロールをする必要がありましたが、今回から「公務員研修」「民間研修」「個別課題研修」の分類に分けて募集内容を掲載することにいたしました。

<https://www.jswa.go.jp/kensyu/index.html>



図1 リニューアル後のトップ画面

| 令和6年度 研修一覧 | | | | | | |
|--------------------------|---------|----------|----|-----|-------|---------|
| 戸田研修 対面集合宿泊型 | | | | | | |
| ※募集状況が「募集中」の研修のみ応募が可能です。 | | | | | | |
| 募集状況 | コース名 | 専攻名 | 日数 | 回 | 研修開始日 | 受講料(円) |
| 募集開始前 | 計画設計コース | 下水道事業入門 | 4 | 第1回 | 5月14日 | 130,600 |
| 募集開始前 | 計画設計コース | 下水道計画入門 | 5 | 第1回 | 9月30日 | 142,300 |
| | | 下水道事業の計画 | | | | |

図2 研修一覧画面(例)

各リンクをクリックしていただきますと図2のとおり研修の一覧が表示され、「専攻名」のリンクをクリックしていただきますと図3のとおり研修要項等が表示され専攻の詳細な内容が把握できるようになっております。

2 JS 下水道研修ホームページリニューアル 及び応募方法変更について

JSホームページ内の「JS下水道研修」コンテンツは相当見づらい状態となっており皆様が見たい情報になかなかどり着けない状況となっております。

皆様に便利に利用していただくことやより簡単に研修に応募していただくことを目的としまして、この度令和6年2月にホームページをリニューアルいたしました。

| ウォーターPPPの進め方 / 2日間 | |
|--------------------|--|
| 研修要項 | |
| 対象者 | 下水道分野における「官民連携」に関心のある職員 |
| 目標 | 「ウォーターPPP」は、水道、下水道、工業用水道分野において、公共施設等運営事業（コンセッション方式）に加え、コンセッション方式に段階的に移行するための官民連携方式として、新たに「管理・更新一体マネジメント方式（レベル3.5）」を含めたもの。 下水道分野における官民連携及びウォーターPPPの動向、導入事例紹介などからウォーターPPPとは何かを学ぶ。 |
| コース名 | 官民連携・国際展開コース |

図3 研修要項(例)

さらに研修一覧画面を「戸田対面集合研修」「地方研修」「オンライン研修」「オンデマンド研修」に分類し、直感的に研修一覧を把握できるように心がけました。

また、今年度より研修の応募方法を変更しました。ホームページ内「募集中」と表示されている専攻から研修に応募するスタイルとしました。

「募集中」の専攻サイト下部に「この研修を申し込む」ボタン(図4)が表示されておりますので、そのボタンをクリックして必要事項をご記入のうえ申し込みをお願いいたします。

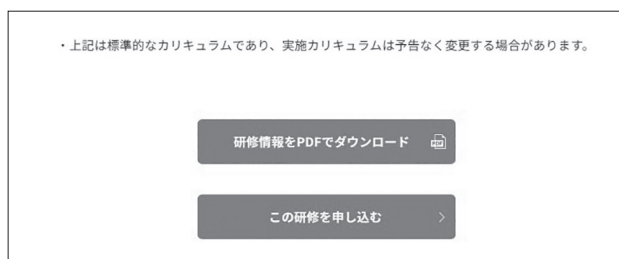


図4 「この研修を申し込む」ボタン

3 研修講師登録制度

この度、JS研修センターでは「研修講師登録制度」を創設いたしました。

本制度では地方公共団体等を退職した方のこれまで培った豊富な知識や経験を研修講師として活かしていただくことによって、持続的な下水道事業の発展及び人材育成に寄与することを目的としています。

登録対象分野は計画設計・実施設計等10の部門で、以下の条件をすべて満たす方を対象としております。

- (1) 地方公共団体等を退職し、下水道事業における実務経験(概ね10年以上)を有し一定の事務、技術ノウハウを有する方
- (2) JS研修センターが定める登録対象分野において豊富な知識と実務経験を有する方
- (3) 指導者として適格な方で、研修講師として経験がある方、又は同等の技量を有している方
- (4) 事業団の要請に応じて、研修講師として活動できる方

上記の条件を満たす方で、本制度にご興味を持たれた方は、ぜひともホームページで内容をご確認のうえ、研修センター研修企画課までご連絡(電話又はメール)をお願いいたします。

皆様の素晴らしい技術を次世代へ引き継ぐ機会として、ぜひともご登録をお願いいたします。

<https://www.jswa.go.jp/kensyu/instructor/>

4 下水道研修支援業務

JS研修センターの研修施設(宿泊施設、教室及び講堂等)を活用した地方公共団体や民間企業等の職員・社員研修について企画から実施までを支援いたします。支援可能な研修業務の条件は次のとおりです。

- 下水道に関する研修であること
 - JS下水道研修に影響しない開催時期であること(主に2月中旬～5月上旬の間で調整可能)
 - JS講師による講義を含むこと
- JS研修センターの活用は以下のメリットがあります。

- (1) 下水道研修に必要な施設・設備を完備しております。
- (2) 参加者同士の一体感が高められる宿泊研修が可能です。
- (3) 食堂を併設し3食提供が可能です。
- (4) ニーズに応じた専門講師による講義が可能です。
- (5) 処理場等の視察や演習・実習などの社内研修のカリキュラム作成もサポートいたします。

職員・社員研修を、庁舎内・社内ではなく研修環境の整った快適な施設を利用して実施することで、研修効果が向上することは間違いありません。

なお、ご利用に関するお問い合わせはホームページからも可能です。

<https://www.jswa.go.jp/kensyu/kensyushien/>



写真1 研修室での講義風景

そのほか、研修に関する各種情報はリニューアルした「JS下水道研修」のホームページに掲載しておりますので、ぜひともご覧になってください。多くの方の研修参加をお待ちしております。

つじた・たけお 平成2年8月日本下水道事業団採用。同30年4月西日本設計センター機械設計課長、令和2年4月関東・北陸総合事務所長野復旧支援室長、同4年4月研修センター教授兼監査室考査役。同6年4月より現職。